

横須賀 市民記者がつくる 日日新聞

INDEX

- 2 市上下水道局「ブルトラ隊」
- 3 8日出初め式
- 4 第2回わらじ卓球

発行所：神奈川新聞横須賀支社 〒238-0004 横須賀市小川町21-9 TEL.046(822)2020 FAX.046(823)3845 ✉yokosuka@kanagawa-np.co.jp **第58号**
 神奈川新聞のご購読申し込みはフリーダイヤル ☎0120-446-709。1週間のお試し読みも受け付けています。購読料1ヵ月3,189円
 平成29(2017)年1月1日発行

あなたが地域の主人公 21

昨年11月に横須賀の「生涯現役」を進めるプロジェクトが続いた。横須賀市、民間団体、県立保健福祉大学が協働で実施した第3回「生涯現役フォーラム」(11月19日)、そして市と商工会議所が連携して実施したシンポジウム「地域活動デビュー」を応援!(11月28日)の2つ。フォーラムは今回

地域デビュー

で3回目。雨にもかかわらず多くの市民が3つの講演会、セミナー、相談会、健康づくり企画に参加した。そしてシンポジウム「地域活動デビュー」は、定年前の世代をターゲットにした新企画。私は基調講演の志

イメージを定年前に

村直愛先生と対談の形で市民・市民団体側の立場から地域デビューの実情などを話した。志村先生は日本テレビ「世界一受けたい授業」に何度も出ている人気の大学教授。その軽妙な司会進行のもと、第二部では3名のパネリストが加わった。行



地域活動デビューをテーマに熱く語り合うパネリスト=市商工会議所

た大きなテーマである。先のフォーラムの原点でもある民間4団体で作った「ひとくてもまたプロジェクト」は、当初「ひとくてもまたのお父さんプロジェクト」であった。企業戦士として働き続け、定年後に鬱やひきこもりになってしまいがちな男性シニアと、後継者不足に悩む地域社会のマッチングに焦点をあてた企画だった。だがその団塊の世代も70歳に近づき、むしろ高齢化問題として深刻な課題となってきた。

あと2年ほどで私も定年を迎える。もちろん60歳過ぎて働くことは今や常識であろうが、働き方の比重が変わってくるのかもしれない。定年前の世代にこのシンポジウムを提供した狙いもそこにある。私は公益法人のなかでずっと働いてきたので、仕事上で地域やNPOとのかわりが多かった。町内の自治会長も経験した。同世代の定年予備軍に比べたら地域活動・市民活動にシフトする自分は想像しやすい。だが組織に守られていた自分が、後ろ盾が何もない状態で何ができるか不安でもある。来場者に地域デビューを勧めながら、自身を見詰め直す機会にもなった。

(横須賀市立市民活動サポートセンター館長・高橋 亮)

横須賀日日新聞 第58号
2017年1月1日
あなたが地域の主人公 21
テーマ：地域デビュー
(イメージを定年前に)
※許可を得て掲載しています。